

バージョン: V3.9(2024/4/1)版

申請先: 一般財団法人全国地域情報化推進協会 事務局

「公開用DB方式の統合DB製品」製品 地域情報プラットフォーム準拠確認チェックリスト

※記入上の注意(詳細な記入ルールは、「チェックリスト記述説明」シートを参照してください)

オレンジ色網掛けセルは、必ず記入してください

黄色網掛けセルは、必要に応じ記入してください

APPLIC 登録番号: K000604-0009

※赤字部分は、V3.8からV3.9の変更箇所を示す。

(1) 対象標準とバージョン

APPLIC-0002-2024

・プラットフォーム通信標準仕様V3.3

・アーキテクチャ標準仕様V3.3

(2) 地域情報プラットフォーム準拠確認対象製品やシステムの情報と連絡先

(a) 申請日(西暦年月日): 2024年6月16日

(b) 申請区分(新規、修正、破棄): 新規

(c) 申請者

団体名: 株式会社JSOL

団体のURL: https://www.jsol.co.jp/

APPLIC会員番号: K000604

★識別キー項目1
(識別キー項目4つで
ユニークになるように
申請者が指定する)

(d) 製品情報

代表製品名: 情報システム統合化ライブラリ(Live-Rally)

製品説明のURL: https://www.jsol.co.jp/solution/government.html

複数製品で構成する場合追記: オプションコンポーネント(データ更新/データ検索)

複数製品で構成する場合追記:

複数製品で構成する場合追記:

★識別キー項目2
(オプション)
(オプション)
(オプション)
(オプション)

製品識別情報(バージョン等): 4.1.0

★識別キー項目3

リリース日(予定)(西暦月日): 2024年3月31日

対応OS: Windows Server 2019
Windows Server 2022

製品の形態((1)型から(3)型): (1)型

製品単品
(PF通信内部実装型)

製品分離型
(前提PF通信製品)

製品分離型
(前提PF通信
製品(他社))

統合DB製品
(サービスIF処理)
(PF通信処理)

統合DB製品
(サービスIF処理)
PF通信製品

統合DB製品
(サービスIF処理)
Y社PF通信製品

(1)型

(2)型

(3)型

前提となるPF通信製品(オプション)

前提PF通信製品名:

※1

前提PF通信製品名:

※1

※1 (2)型、(3)型の場合、既に、準拠登録申請してあるPF通信機能を実装する製品名を記載する。

(e) 製品のクラウドでの提供について

提供の有無: 構築実績あり

参考となる情報(オプション):

対応可能なネットワーク(オプション)

LGWAN: 実績あり

専用線(閉域網):

インターネット:

(3) 地域情報プラットフォーム準拠確認チェック項目(準拠ルール)

※: 下記の機能が実装された製品でなく、ソリューションによる提供場合、「前提事項や制限事項」の欄にそのことを記載すること

◎: 対応、○: 制約のあるもの(制約がある場合は備考欄に記載する)↓

番号	準拠ルール (番号(CS-RXXXXX)は、サービス基盤標準書に記載のある関連準拠ルールの番号)	必須/ 選択	サイト内	
			製品・ システム 確認	APPLIC 確認欄
1	「PF通信(PF通信機能)」製品 PF準拠確認チェックリストにおける準拠ルールを満たす			○
1-1	TCP/IPによる通信が可能であること(CS-R020001)	必須	◎	
1-2	HTTPは、HTTP1.1を使用する(CS-R020002)	必須	◎	
1-3	SOAPは、SOAP1.1を使用する(CS-R020003)	必須	◎	
1-4	SOAP通信は、Basic Profile 1.0に準拠すること(CS-R020004)	必須	◎	
1-5	標準仕様書で定義するXMLインスタンスの形式に対応できること (CS-R032001)	必須	◎	
1-6	標準仕様書で定義するサービスインタフェース定義に対応できること (CS-R032003)	必須	◎	
1-7	PF通信標準仕様のメッセージ交換パターンの1つである「リクエスト・レスポンス型同期型レスポンス」のPF通信を行えること(CS-R060002, CS-R060005, CS-R060009)	必須	◎	
2	アーキテクチャ標準仕様「統合DB機能」における、公開用DB方式の機能要件を満たす			○
2-1	利用I/Fとして、1つ以上の自治体業務アプリケーションユニットインタフェース標準を実装していること(AS-R045403) ※ 下記の自治体業務アプリケーションユニットのうちインタフェース標準を実装しているものついて◎または○を記入 (■但し、4 選挙人名簿管理、19 健康管理、20 就学、21 戸籍、51 庶務事務は、他の自治体業務アプリケーションユニットからデータ連携(SOAP呼び出し)により参照されるデータを所管しないため、対象外とする。) 1つ以上の自治体業務アプリケーションユニットインタフェース標準を選択してください	必須	◎	
	1 住民基本台帳	選択		
	2 印鑑登録	選択		
	4 選挙人名簿管理(■)			
	5 固定資産税	選択		
	6 個人住民税	選択		
	7 法人住民税	選択		
	8 軽自動車税	選択		
	9 収滞納管理	選択		
	10 国民健康保険	選択		
	11 国民年金	選択		
	12 障害者福祉	選択		
	13 後期高齢者医療	選択		
	14 介護保険	選択		
	15 児童手当	選択		
	16 生活保護	選択		
	17 乳幼児医療	選択		
	18 ひとり親医療	選択		
	19 健康管理(■)			
	20 就学(■)			
	21 戸籍(■)			
	23 児童扶養手当	選択		
	30 住登外管理	選択	◎	
	50 財務会計	選択		
	51 庶務事務(■)			
	52 人事給与	選択		
	53 文書管理	選択		
2-2	利用I/Fとして、SQL によるインタフェースを提供していること(AS-R045404)	選択		
2-3	提供側自治体業務アプリケーションユニットに対し、統合DB のDB 更新機能(PUSH 型データ提供機能)としてSOAP またはSQL のインタフェースを提供していること (AS-R045405)	必須	◎	
2-4	統合DB と自治体業務アプリケーションユニットの間で交換されるデータの文字コードとしてPF 標準(UTF-8 または16)を使用できること (AS-R045407)	選択	◎	
2-5	外字を扱えること(AS-R045408)	必須	◎	
備考欄(前提条件や制限事項について、「製品・システム確認」欄の○についての説明を記載してください)(オプション)				